

自閉症協会コロナアンケート分析結果

[調査期間]2022年3月2日～2022年3月18日 [総回答者数]283名 [文責]内山登紀夫研究室

I, ご回答者（保護者等）について

1、回答者の属性等について

1) 発達障害のある対象者との関係 (n=281)

	N	%
母	260	92.5
父	15	5.3
きょうだい	1	0.4
子	2	0.7
配偶者	1	0.4
支援者	2	0.7
合計	281	100

2) 性別 (n=280)

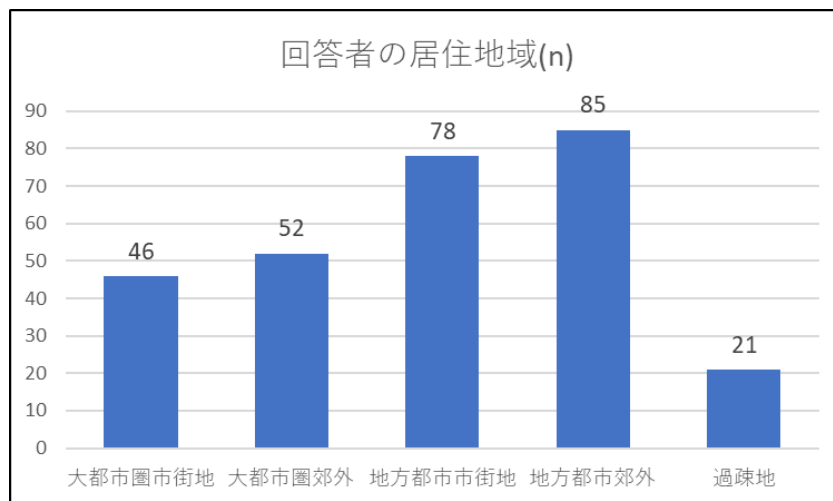
	N	%
男	15	5.4
女	265	94.6
合計	280	100

3) 年齢 (n=280)

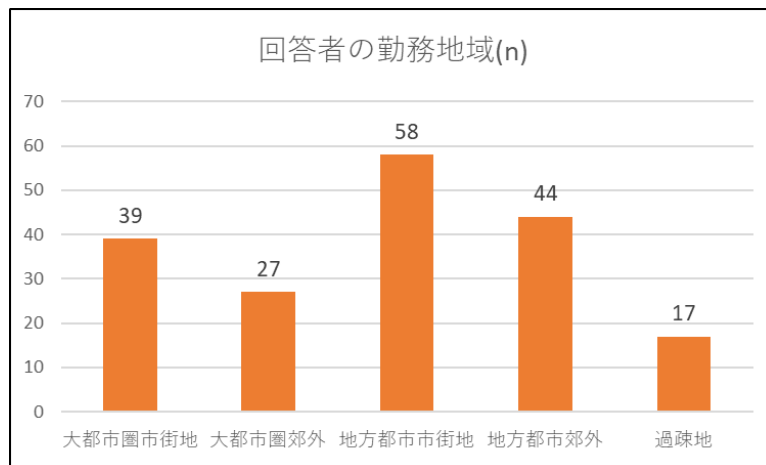
21-30 歳	6	46.7%
31-40 歳	60	4.7%
41-50 歳	116	2.4%
51-60	69	4.1%
61-70	24	11.7%
71-	5	56.0%
合計	280	100.0%

平均値	48.0
中央値	48.0
範囲	54.0
最小値	27
最大値	81

4) 回答者の居住地域 (n=282)

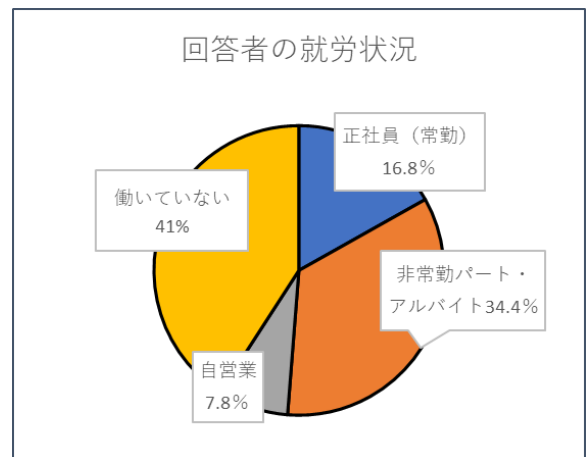


5) 回答者の勤務地 (n=185)



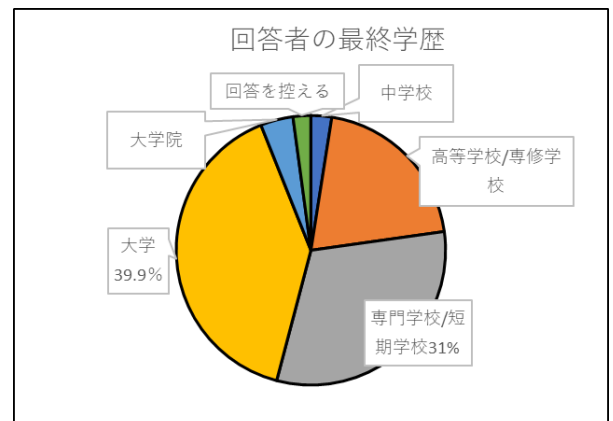
6) 回答者の就労状況 (n=279)

	N	%
正社員（常勤）	47	16.8
非常勤パート・アルバイト	96	34.4
自営業	22	7.8
働いていない	114	41.0
合計	279	100.0



7) 回答者の最終学歴 (n=281)

	N	%
中学校	7	2.5
高等学校／専修学校	57	20.3
専門学校／短期学校	88	31.3
大学	112	39.9
大学院	11	3.9
回答を控える	6	2.1
合計	281	100.0

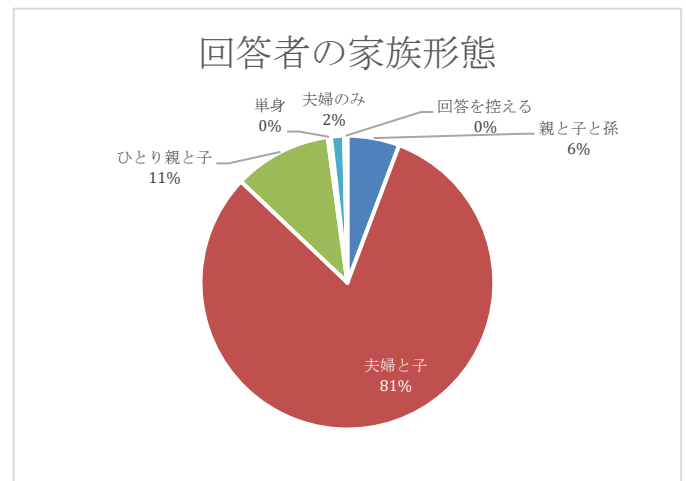


8) 回答者の家族形態 (n=278)

	N	%
既婚	245	88.1
死別	3	1.1
離婚	27	9.7
未婚	2	0.7
回答を控える	1	0.4
合計	278	100

9) 回答者の家族形態 (n=279)

	N	%
親と子と孫	16	5.7
夫婦と子	227	81.4
ひとり親と子	30	10.8
単身	1	0.4
夫婦のみ	4	1.4
回答を控える	1	0.4
合計	279	100



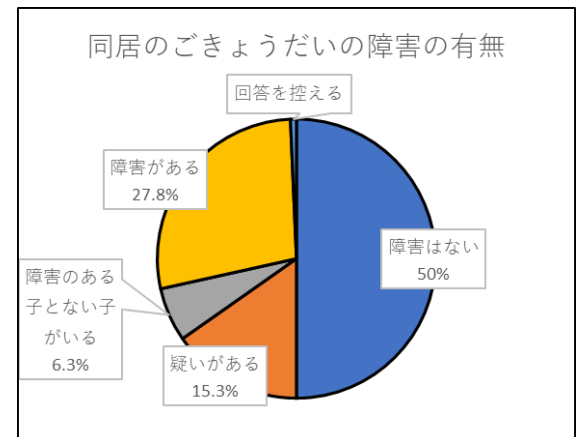
10) きょうだい

① お子様（対象者）はきょうだいがいますか (n=279)

	N
いない	133
いる	146
合計	279

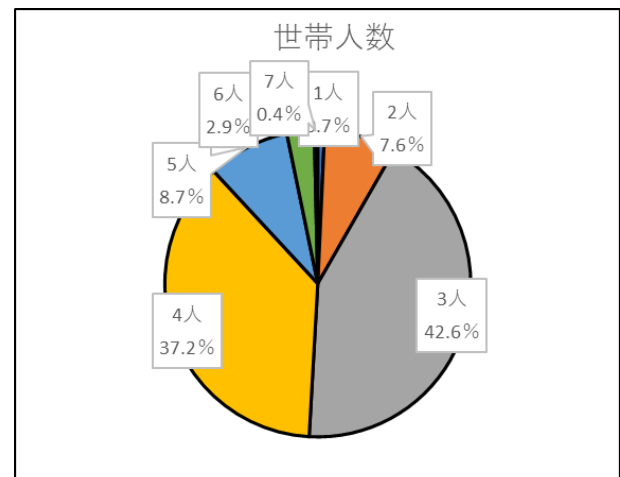
② 同居のごきょうだいは障がいがありますか (n=144)

	n	%
障害はない	72	50.0
疑いがある	22	15.3
障害のある子とない子がいる	9	6.3
障害がある	40	27.8
回答を控える	1	0.7
合計	144	100.0

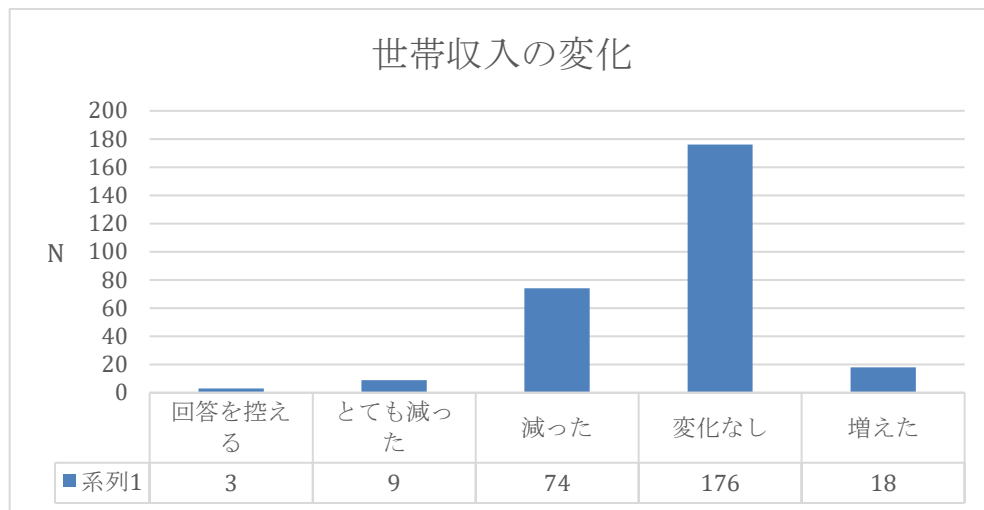


11) 世帯人数 (n=277)

	N	%
1人	2	0.7
2人	21	7.6
3人	118	42.6
4人	103	37.2
5人	24	8.7
6人	8	2.9
7人	1	0.4
合計	277	100



12) 新型コロナウイルス流行（2020 年 3 月）以降の世帯収入は変化しましたか（n=280）

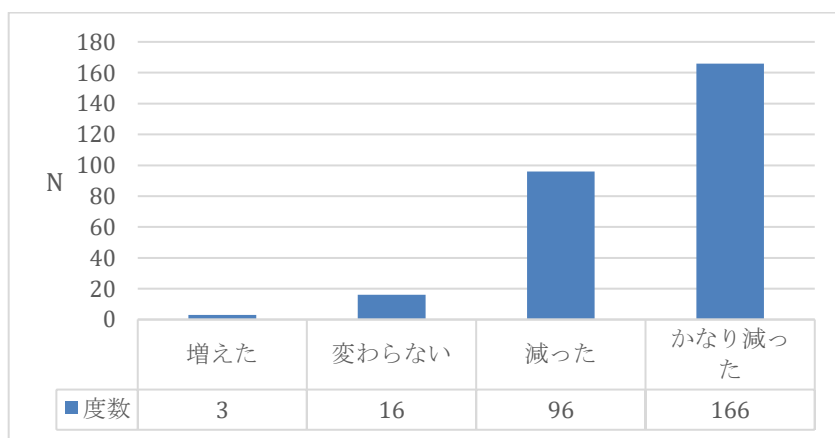


13) 暮らし向きについて、2020（令和2）年 3 月（新型コロナウイルス流行）以降の世帯収入は、それ以前と比べて変化しましたか。

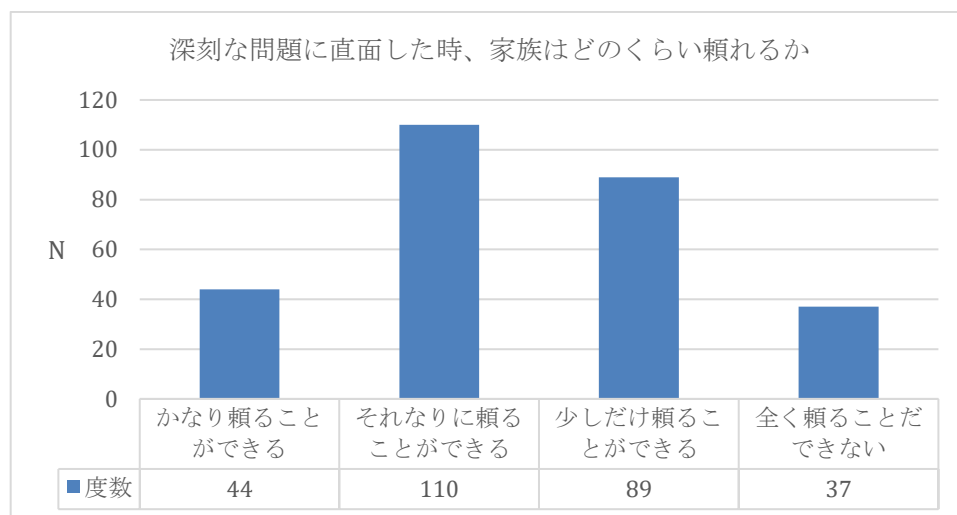
	N	%
変化なし	178	62.9%
減った	74	26.1%
増えた	18	6.4%
回答を控える	4	1.4%
とても減った	9	3.2%
とても増えた	0	0.0%
合計	283	100.0%

2、回答者の社会関係

1) 2020（令和2）年 3 月（新型コロナウイルス流行）以降、家族・親戚・友人・知人などと直接会って話す機会は変化しましたか。（n=281）



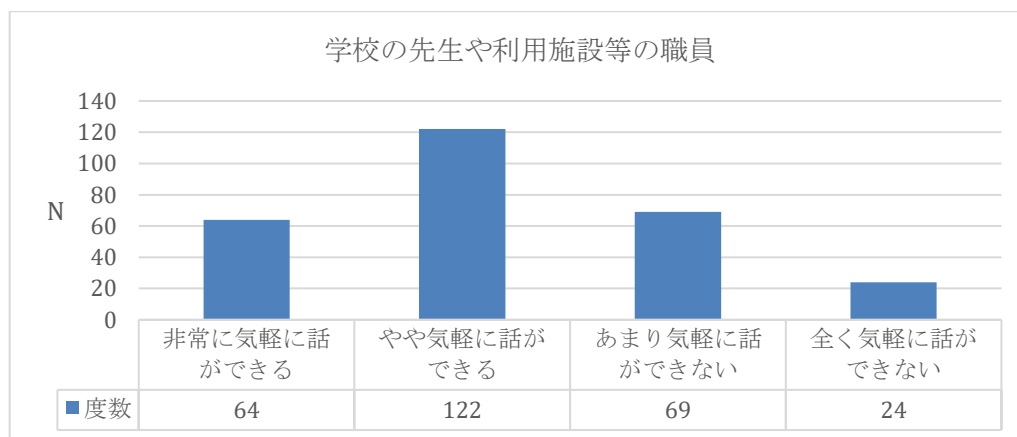
2) 現在、あなたが深刻な問題に直面した時、家族はどのくらい頼ることが出来ますか (n=280)



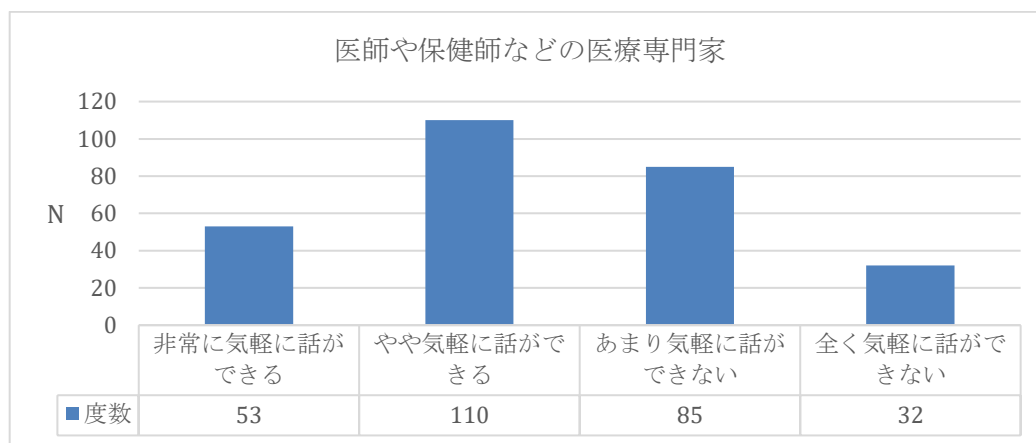
3) 現在、あなたが気持ちを聞いて相談できる人は、次のうちにいますか。(複数可) (n=281)

	配偶者・パートナー	家族 配偶者・パートナー以外の同居の	同居していない家族や親せき	友人・近所の人	発達障がいの子を持つ保護者	インターネット上の友人	医師・保健師などの医療者	相談支援専門員	心理師などの専門家	子ども(対象者)の学校の教師など 教育関係者	利用施設の職員など	その他	いない
N	182	37	104	104	138	40	72	77	54	42	80	5	22
%	64.8	13.2	37	37	49.1	14.2	25.6	27.4	19.2	14.9	28.5	1.8	7.8

4) 新型コロナウイルスやワクチン接種、対象者の行動の問題について、学校の先生や利用施設等の職員にどの程度気軽に話ができますか (n=279)

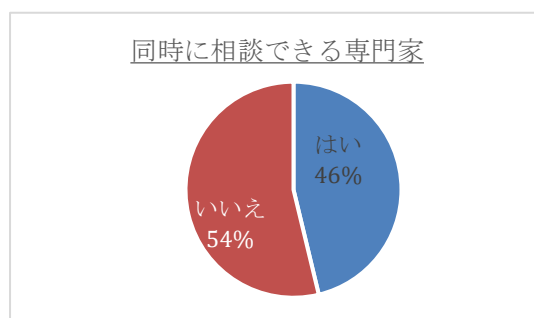


- 5) 新型コロナウイルスやワクチン接種、障害や生活について、医師や保健師などの医療専門家にどの程度相談ができますか (n=280)



- 6) お子様（対象者）の障がいと新型コロナウイルスの両方について、同時に相談できる専門家は身近にいますか。 (n=279)

	N
はい	129
いいえ	150
合計	279



- ① 上記で、はいと回答された方へ：それはどこですか（複数可） (n=129)

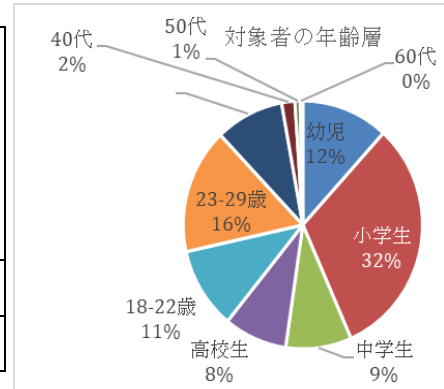
	医療機関	保健センター等相談機関	学校や利用施設等
N	104	27	59
%	37	9.6	21

Ⅱ,お子様・対象者（自閉症等発達障がいのある方ご本人）について

1、お子様・対象者（自閉症等発達障害のある方ご本人について）

1) 年齢層（n=281）

	幼児	小学生	中学生	高校生	18 ～ 22 歳	23 ～ 29 歳	30 代	40 代	50 代	60 代	70 歳 以上
N	33	89	25	24	30	46	26	5	2	1	0
%	11.7	31.7	8.9	8.5	10.7	16.4	9.3	1.8	0.7	0.4	0



2) 性別（n=280）

	N	%
男	225	80.4
女	54	19.3
その他	1	0.4
合計	280	100

3) 日中活動（n=279）

	N	%
なし	16	5.7
あり	263	94.3
合計	279	100

日中活動（主なものすべて）（n=345） ※複数回答有

	保育所／幼稚園／こども園	児童発達支援（センター）	放課後等デイサービス	小学校（通常級）	小学校（通常級＋通級）	小学校（支援級）	小学校（特別支援学校）	中学校（通常級）	中学校（通常級＋通級）	中学校（支援級）	中学校（特別支援学校）	高等学校（全日）	高等学校（定時・通信・サポート校）	高等学校（特別支援学校）	専門学校	大学	大学院（修士・博士）	企業等でのフルタイム雇用	企業等での短時間雇用（週30時間未満）	福祉的就労（就労継続V型、B型、就労移行支援）	福祉サービス事業所（生活介護、地域活動支援センター）	その他
N	22	23	68	9	14	32	28	3	1	10	9	8	2	15	1	5	0	12	8	26	47	2

4) 最終学歴 (n=278)

	未就学もしくは就学中	中学校(通常級)	中学校(通常級+通級)	中学校(特別支援学校)	高等学校(全日)	高等学校(定時・通信・サポート校)	高等学校(特別支援学校)	専門学校	大学
N	153	4	3	9	7	7	83	4	8
%	55	1.4	1.1	3.2	2.5	2.5	29.9	1.4	2.9

5) お子様(対象者)は、ご回答者と同じ居していますか (n=279)

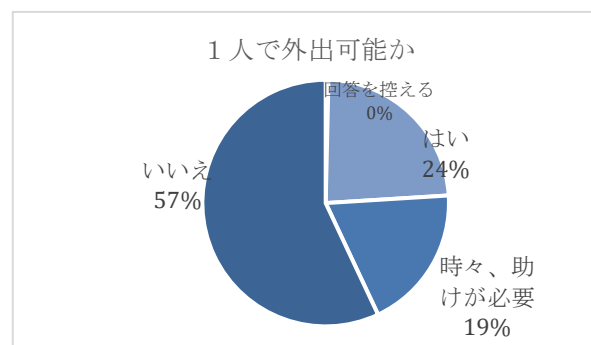
	N	%
いいえ	19	6.8
はい	260	93.2
合計	279	100

6) お子様(対象者)の婚姻状況 (n=279)

	N	%
18歳以下である	157	56.3
未婚独身	121	43.4
既婚	1	0.4
合計	279	100

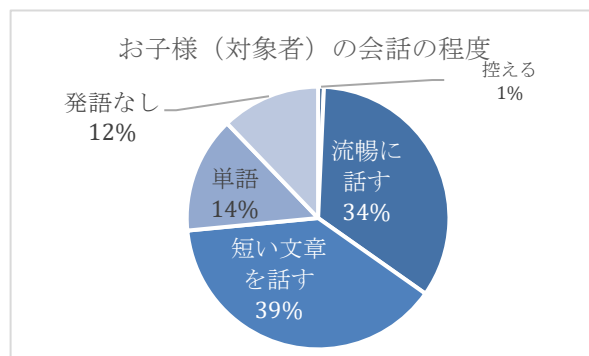
7) お子様(対象者)は一人で外出ができますか (n=279)

	N	%
はい	66	23.7
時々、助けが必要	53	19
いいえ	159	57
回答を控える	1	0.4
合計	279	100



8) お子様(対象者)はどの程度話しますか (n=279)

	N	%
流暢に話す	95	34.1
短い文章を話す	108	38.7
単語	40	14.3
発語なし	34	12.2
回答を控える	2	0.7
合計	279	100



9) お子様（対象者）をケアしているのは、主にどなたですか（n=247）

	回答者がケア	回答者の配偶者	回答者・配偶者以外の同居家族	施設等のスタッフ	その他	回答者＋回答者の配偶者	回答者＋回答者の配偶者＋回答者・配偶者以外の同居家族	回答者＋回答者の配偶者＋回答者・配偶者以外の同居家族＋施設等のスタッフ	回答者＋回答者の配偶者以外の同居家族	回答者＋施設等のスタッフ	回答者＋その他	回答者の配偶者＋施設等のスタッフ	ケアは必要ない
N	141	2	1	8	2	41	5	9	4	26	1	1	6

10) お子様（対象者）の障害者手帳の種類（n=280）

	所持していない	療育手帳	精神保健福祉手帳	身体障害者福祉手帳	療育手帳＋精神保健福祉手帳	療育手帳＋身体障害者福祉手帳	不明
N	73	154	34	1	11	6	1
%	26.1	55	12.1	0.4	3.9	2.1	0.4

11) お子様（対象者）の知的発達はどのくらいですか（n=277）

	知的発達症はない	軽度／境界域	中・重度の知的障害	最重度の知的障害	その他
N	86	63	121	2	5
%	31	22.7	43.7	0.7	1.8

12) お子様（対象者）は、特別児童扶養手当あるいは特別障害者手当を受給していますか（n=272）

	受給している	申請したが通らなかった	申請していない	不明	回答を控える
N	109	29	113	14	7
%	40.1	10.7	41.5	5.1	2.6

13) お子様（対象者）は、障害年金を受給していますか（n=281）

	外 20歳未満で対象	受給している	申請したが通らなかった	申請していない	不明
N	152	87	37	2	3
%	54.1	31	13.2	0.7	1.1

14) 引きこもりについて

- ① お子様（対象者）は、ひきこもりの経験はありますか（*ここでいう、ひきこもりとは、仕事や学校に行かず、かつ家族以外の人との交流をほとんどせずに、6か月以上続けて自宅にひきこもっている状態をいいます）（n=277）

	N	%
はい	29	10.5
いいえ	245	88.4
回答を控える	3	1.1
合計	277	100

- ② はいと回答された方へ：どのくらいの間、引きこもりを経験しましたか（していますか）（n=26）

	6か月 ～ 1年	1 ～ 2年	3 ～ 4年	5 ～ 9年	10 ～ 19年	20 年以上
N	12	3	6	3	1	1
%	46.2	11.5	23.1	11.5	3.8	3.8

2、お子様・対象者（自閉症等発達障がいのある方ご本人）のからだや心の状態について

- 1) お子様（対象者）の発達障がいの診断にあてはまるものをすべて選んでください。（n=384）
（複数回答有）

	自閉スペクトラム症	注意欠如多動性障害	学習障害	発達性協調運動障害	トゥレット症候群
N	269	64	24	21	6
%	95.7	22.8	8.5	7.5	2.1

2)お子様（対象者）は、これまでに次の症状について、診断を受けたことがありますか。(n=281)

	うつ病	双極性障害	不安障害	強迫性障害	依存症	睡眠障害	てんかん	その他
ある	9	3	22	13	3	61	39	20
%	3.2	1.1	7.8	4.6	1.1	21.7	13.9	7.1
受診したが診断はついていない	14	7	18	12	10	17	19	9
%	5.0	2.5	6.4	4.3	3.6	6.0	6.8	3.2

2-1)上記の症状で、「ある」、もしくは、「受診したが、診断はついていない」と回答した方に伺います。2020（令和2）年3月（新型コロナウイルス流行）以降において、悪化した、もしくは発現した症状はありますか。(n=166)

	N	%
ない	109	65.7
1つある	44	26.5
2つある	12	7.2
3つ以上ある	1	0.6
合計	166	100

3) お子様（対象者）は、これまでに次の身体症状に関する診断を受けたことがありますか。(n=281)

	アトピー性皮膚炎	過敏性腸炎	突発性難聴	過呼吸症候群	慢性疲労症候群	肥満／やせすぎ
ある	81	11	0	2	4	46
%	28.8	4.1	0	0.7	1.5	17.1
受診したが診断はついていない	4	4	0	0	5	11
%	1.4	1.5	0.0	0.0	1.9	4.1
回答者総数(n)	281	270	268	267	268	269

3-1)上記のからだの症状で、「ある」、もしくは、「受診したが、診断はついていない」と回答した方に伺います。2020（令和2）年3月（新型コロナウイルス流行）以降において、悪化した、もしくは発現した症状はありますか。（n=152）

	N	%
ない	120	78.9
1つある	25	16.4
2つある	7	4.6
3つ以上ある	0	0
合計	152	100

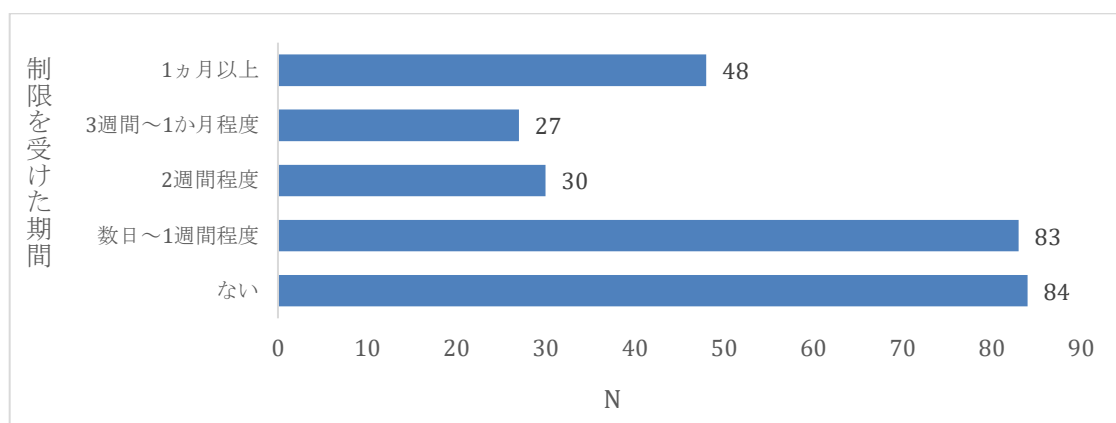
4) 2022（令和3）年1月(新型コロナウイルス（オミクロン株以降）)の変化

お子様（対象者）は、「オミクロン株流行期」以降、次の行動がみられますか。

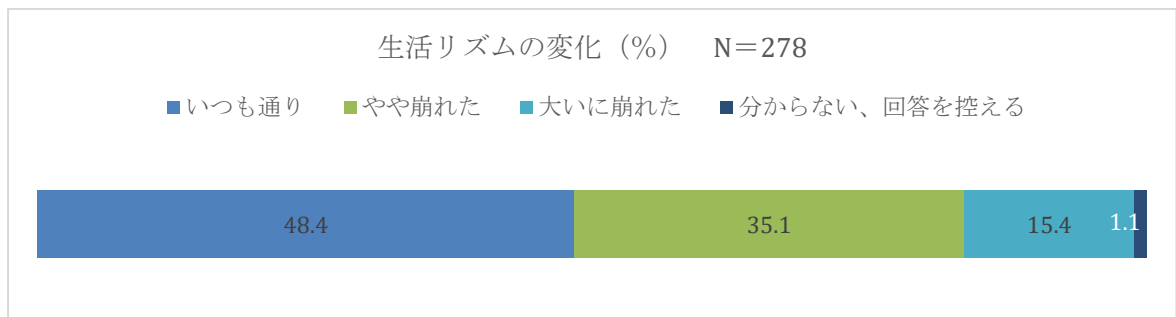
	イライラ	強いこだわり	過度な確認行動	家族や身近な人を避ける	家族や他者への過度な要求	自傷行動	暴力	破壊行動	暴言／泣き叫び／大声	外出拒否	脱走／飛び出し	感覚過敏／感覚鈍麻	自殺ほのめかし／自殺関連行動
よくある	41	60	29	10	26	19	13	12	29	18	9	51	5
%	14.8	21.5	10.6	3.6	9.5	6.9	4.7	4.3	10.5	6.5	3.3	18.3	1.8
たまにある	129	98	75	18	79	52	48	43	93	59	33	75	14
%	46.6	35.1	27.5	6.5	28.8	18.9	17.4	15.5	33.7	21.5	12.0	27.0	5.1
回答者総数(n)	277	279	273	276	274	275	276	277	276	275	274	278	275

3、お子様（対象者）の日常生活・社会生活について

1) 学校や利用施設での、休校・休園・分散当校・時間差登校・出勤控え（在宅勤務）等の措置の期間（n=272）

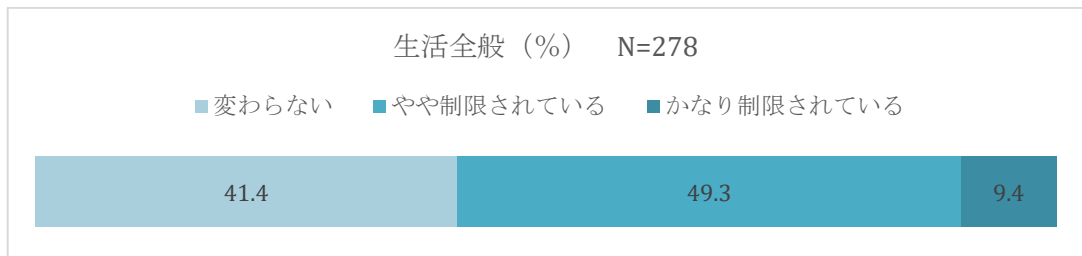


2)生活リズム (n=278)

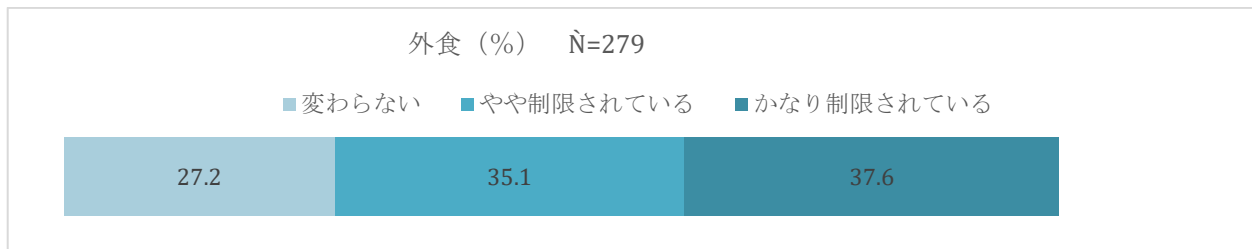


3)次の事柄について制限を受けているか

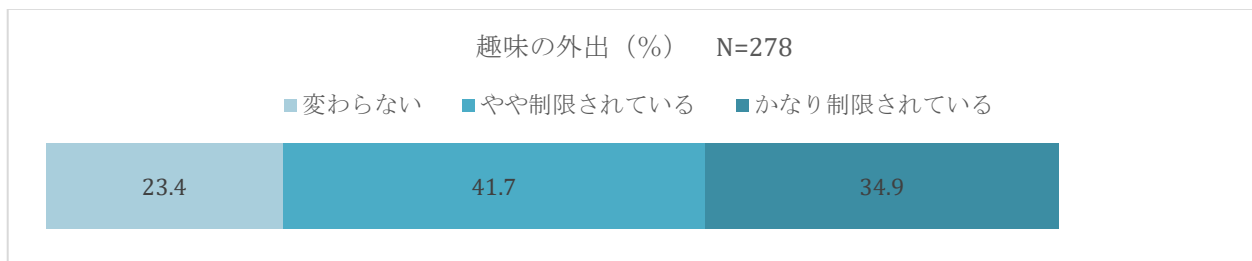
① 生活全般(n=278)



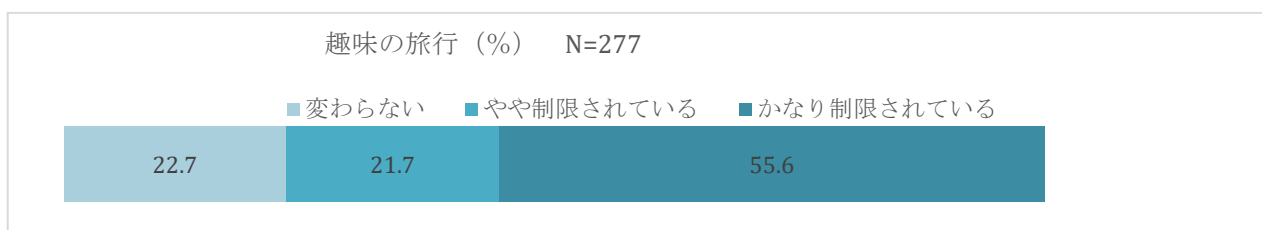
② 外食(n=279)



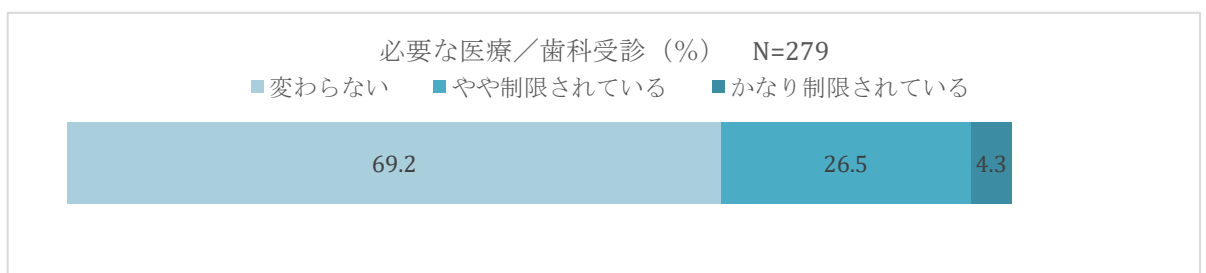
③ 趣味の外出(n=278)



④ 趣味の旅行(n=277)

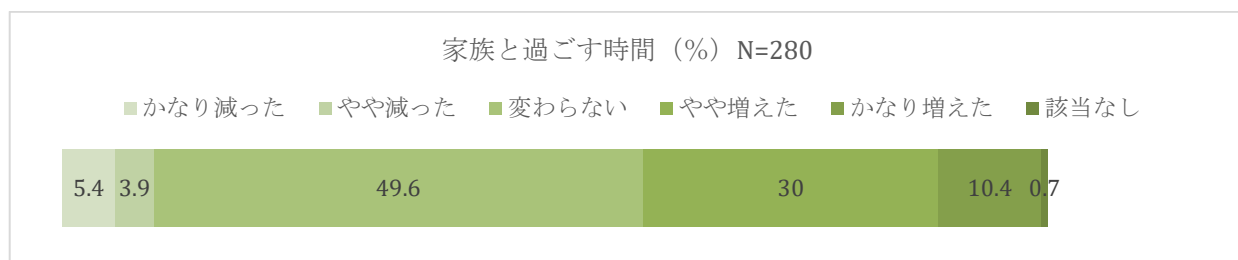


⑤ 必要な医療／歯科受診(n=279)

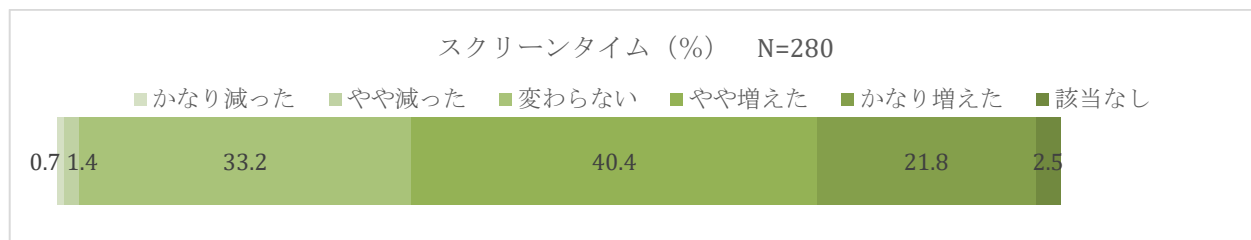


4)次の事柄について変化があるか

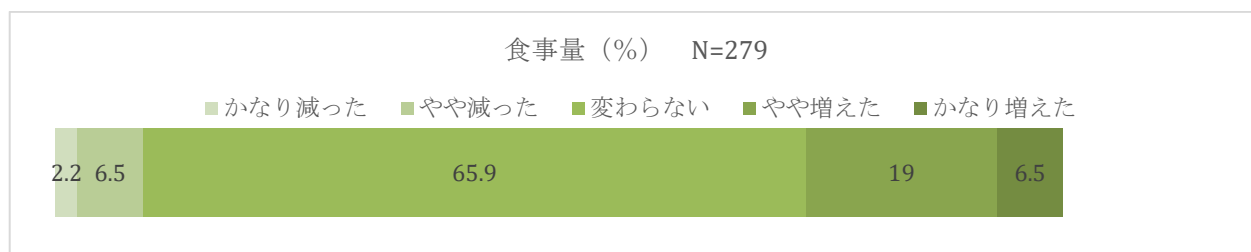
① 家族と過ごす時間(n=280)



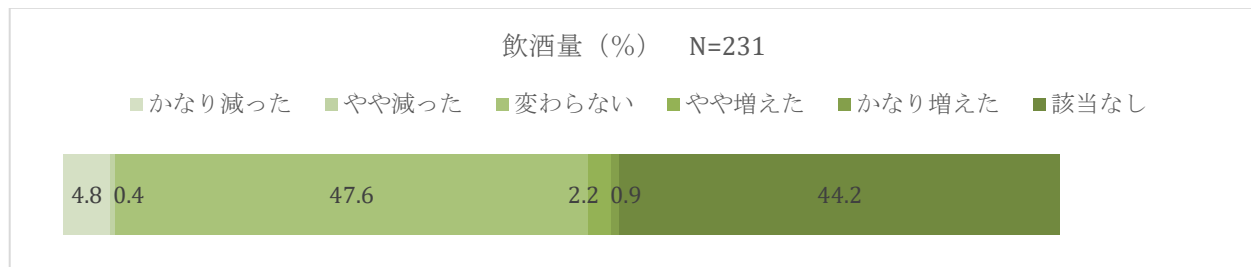
② スクリーンタイム(n=280)



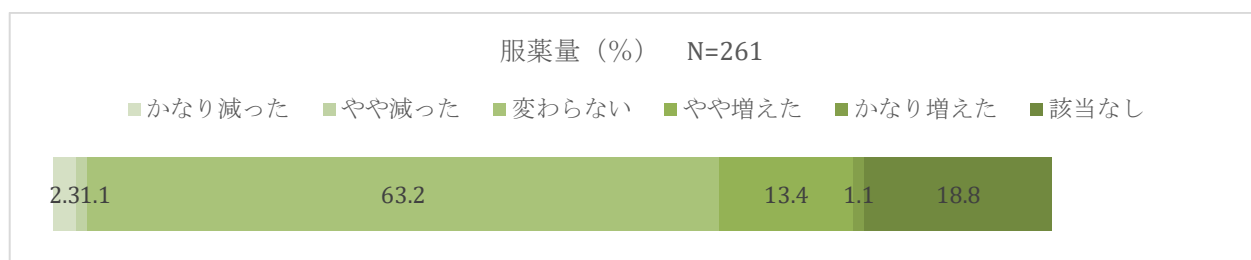
③ 食事量(n=279)



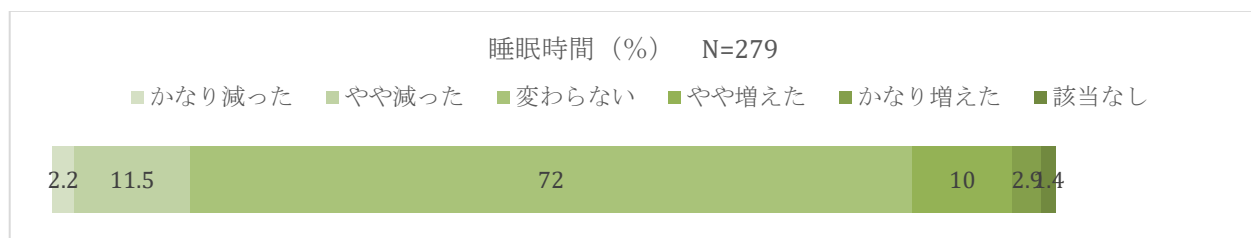
④ 飲酒量(N=231)



⑤ 服薬量(n=261)

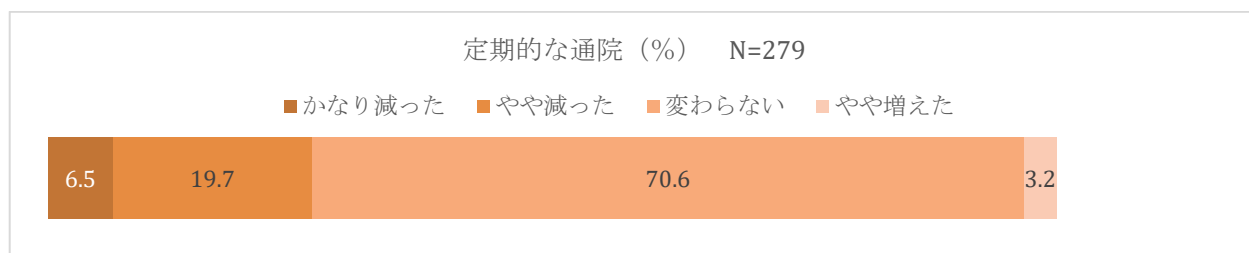


⑥ 睡眠時間(n=279)



5) 普段の医療・福祉等サービスの利用頻度について、変化があったか

① 定期的な通院（かかりつけ医・歯科受診など）（n=279）



② 福祉サービス（放デイ、児童発達支援、作業所、就労支援等）の利用(n=260)



5-1) 5)でかなり減った・やや減ったと回答した方：サービスが減った理由（複数回答有）

	の感染が心配 保護者として子ども	る 本人が感染を心配す	族が感染を心配する 保護者以外の同居家	供頻度が減少した 事業者のサービス提	なった 性者濃厚接触者に 職員や利用者が、陽
N	62	24	9	45	67
％	40	15.7	5.8	29.4	43.2
総数(n)	155	153	154	153	155

その他[自由記述]

- ・マスクが出来ないので気持ち的に利用しにくい。
- ・学級閉鎖で利用できなかった
- ・兄弟が濃厚接触者に該当したり、休園措置になることで休まざるを得なかった
- ・事業所のコロナのルールが理解出来なかった
- ・自身や家族が陽性になった
- ・小児医療センターなどへの通院は、少しでも風邪症状が有ればウィルスを持ち込まないように、延期しているので年間通院数が減った
- ・身近な場所で感染者が出ると利用を控えてと言われる
- ・相手の感染リスクを増やすのが申し訳ない気持ちがある。
- ・本人が、外出自体を億劫がる
- ・マスクを着用できないため
- ・休校・学級閉鎖でサービス利用を控えた。
- ・生活睡眠、リズムが崩れ、起きられなくなった。
- ・対象者が感染して他にうつさないため
- ・担当医師が他県在住のため代替の医師のお薬診察になる頻度が多かった
- ・通院を減らす工夫をしてもらっている
- ・通所利用をしなくなったため
- ・不登校なので保護者が養育する時間が増えてスケジュール管理が予約連絡等の負担になっている

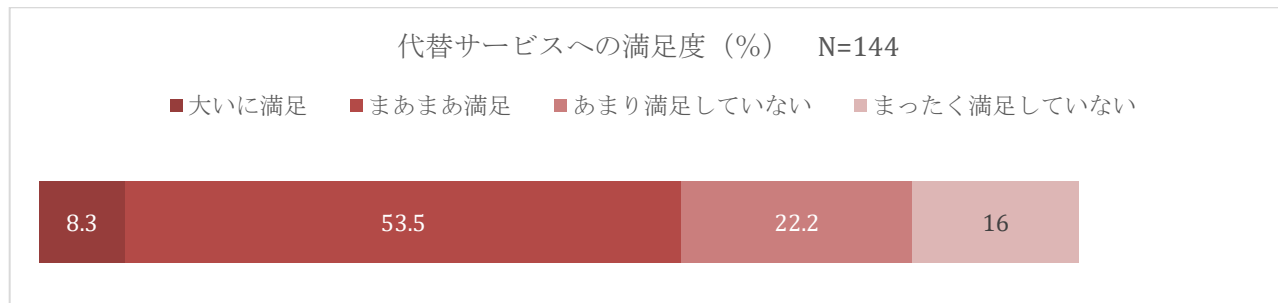
6) 普段利用している医療機関や学校、福祉サービスで、次の代替サービスの提供はあったか
(n=178)

	電話での診療、処方、面談	オンラインでの診察・面談	メールや手紙	You tube など動画教材等の提供	自宅等への訪問	その他
N	79	46	22	16	8	7
%	28.1	16.4	7.8	5.7	2.8	2.5

その他[自由記述]

- ・学校、Google classroom を使った朝礼、課題提供など。
- ・オンライン療育支援
- ・大学はほぼオンライン授業
- ・自宅での在宅ワーク
- ・オンライン授業
- ・在宅ワーク（週2）
- ・保護者のみ受診し、処方を受ける

6-1) 6)で「ある」と回答された方：あなたやお子様・対象者は代替サービスに満足しているか(n=144)



6-2) 6)で「あまり満足していない」・「まったく満足していない」と回答された方：理由・改善点
(自由記載)

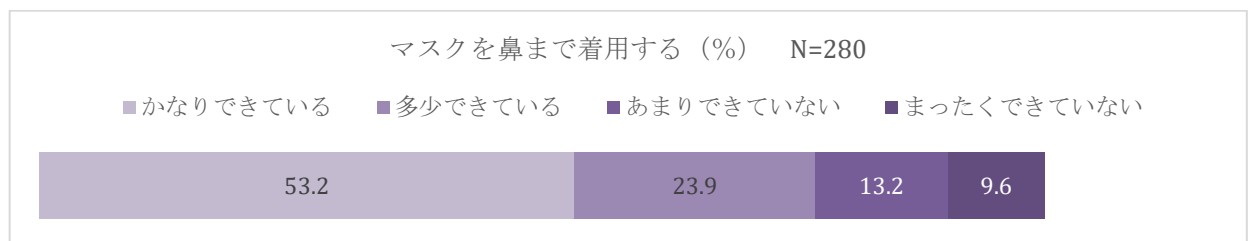
- ・言葉でのコミュニケーションが難しい。
- ・感染者が出るたびに学校が休校になり、学力も生活ベースもガタガタになります。
- ・教材は先生がダンスをしている動画だけ
- ・電話での診療では、相談しづらい。
- ・学校は、オンライン授業を実施していないので、登校しづりをしている子にとっては、置き去りにされている感じ。"
- ・代わりのサービスが提示されない
- ・直接でないと伝わらないことが多い
- ・毎日利用している施設を休まされた
- ・日常の乱れ
- ・大学生生活、他者との交流がほぼない。
- ・電話支援は家族からの聴き取りなので、本人が話したわけではないので。また、本人も会話が出来ない為。
- ・タブレットを活用した宿題、課題等はほとんどで、家でただ充電しているだけだから。
- ・発達外来の電話診療を何度か経験しましたが、処方箋が貰えるだけで、発達具合や筋肉量の変化、運動能力の変化については

電話だけでは伝えきれていないと感じる

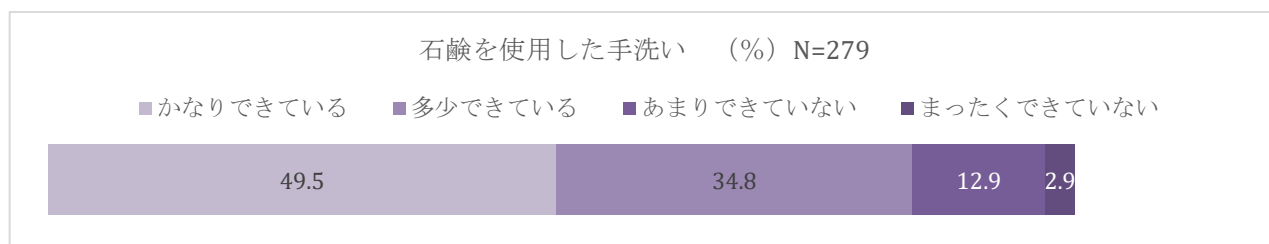
- ・外出を希望しているが出来ないから。
- ・放課後デイで開催されていたイベント体験(博物館や科学館、大型公園への遠足、買物・おやつ作りなど)は、家族以外の人達と安心して参加できる貴重な場でした。デイの魅力が大きく下がってしまっています。
- ・自宅で取り組める課題をお願いしたこともあったが、幼稚園ではなかなか難しく、登園できればフォローしますと言われた。
- ・エビリファイ服用についてや、日頃の困り感など主治医と納得のいくまで話したいけど電話だと話しにくいというか、聞き取れないというか思っていることの半分も話せないでモヤモヤする
- ・代替サービスなどないので
- ・代替サービスがないので仕事を休むしかない
- ・緊急事態宣言中しか使えなかった
- ・入所しているので面会も担当者との面談も減っていて、コミュニケーションの不足を感じます。
- ・利用施設からの電話はあったが子供の状態を伝えるのみで、子供が電話に出たわけではないので
- ・担当の医師でないと、話（相談事や心配事）が出来ない。
- ・コロナを理由に療育施設が保育所等訪問をやめてしまい、コロナの不安から始まる行き渋りなどに対応してくれなくなった。
- ・代替支援としての電話支援。健康チェックなど型にはまった物で、支援してもらっているとは感じづらい。
- ・ネットだと保護者が必ず立ち会わなければならないから
- ・小学校のタブレットを持たせてくれたのは良いが、今現在登校時毎日ランドセルに入れて持って行っている。かなり重たい。その割にオンライン授業などはなく、タブレット自体も動作が遅く家で触ろうと言う気にならない。
- ・プリント一枚で済むような連絡をタブレットで送信するだけ"
- ・本人を実際に見てもらうことが必要。
- ・特別支援学校におけるオンライン授業では、できることが限られるから
- ・気が休まることはないので
- ・様子を電話で聞くだけでは普段ならとれる母子分離の時間が全くとれないため。
- ・電話だけでは開放されない
- ・発達障がいのあるクリニック予約は再診でも半年待ち。それがクリニックの判断で休業となり、次回の予約未定、優先予約もできないとなると予定にこだわりのある子どもの特性からしても困る。代替は是非必要だが、クリニックだけの責任とは思わない。
- ・必要なサービスに出会ってない
- ・選択期間があり、オンラインか登校かどちらかを一律に決めなければならず、下の子がPCR検査を受けるから休む場合、数日間のみ部分的にオンライン受講ができなかったこと。
- ・まだ、大きな問題や悩み事を相談するに至っていない。
- ・実際の子どもの育児には有効でない
- ・代替サービスがないため
- ・何もサービスは受けていません 気にかけてもらっていないのですね。
- ・自宅で、一人で受ける授業は孤独で、対面の方が分かりやすいから
- ・感覚過敏からマスクができず、コロナ禍において学校にいけないなど、あらゆる困難が生じた。

7) お子様（対象者）の新型コロナウイルス対策：実際にできていること

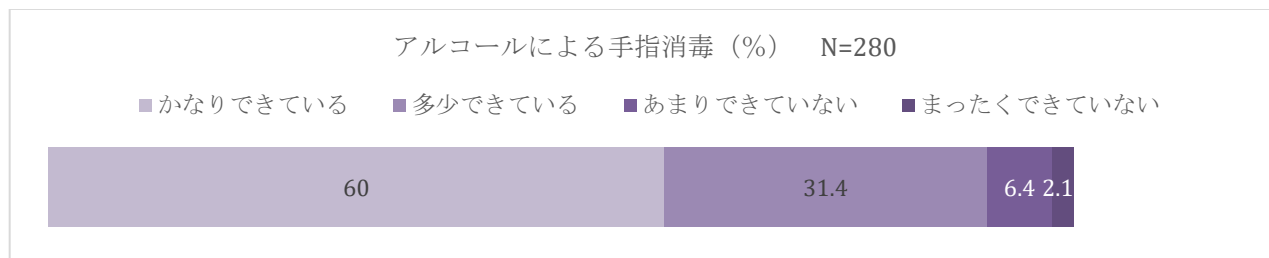
① マスクを鼻まで着用する(n=280)



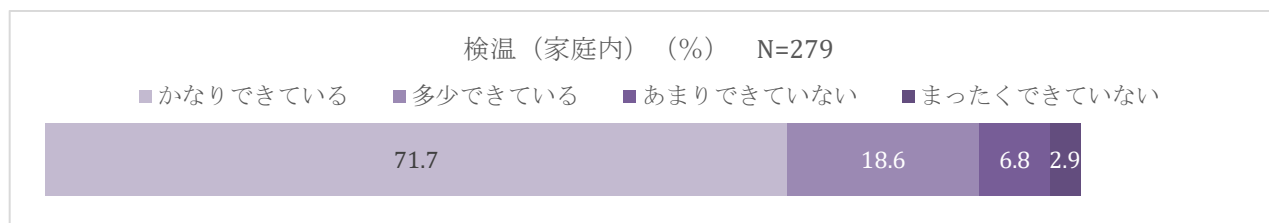
②石鹸を使用した手洗い(n=279)



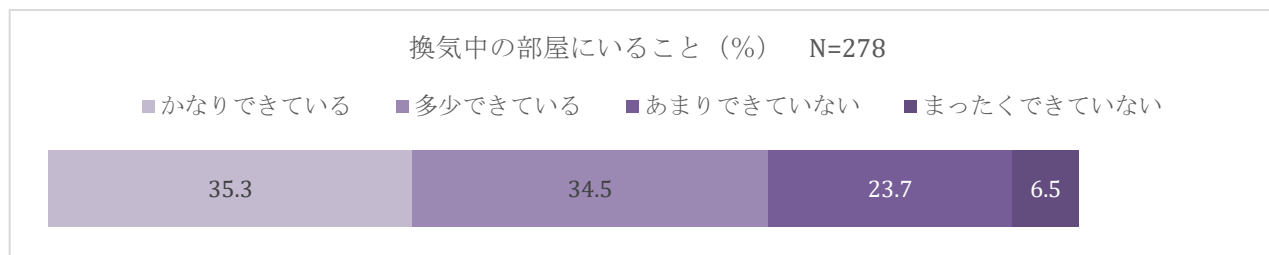
③アルコールによる手指消毒(n=280)



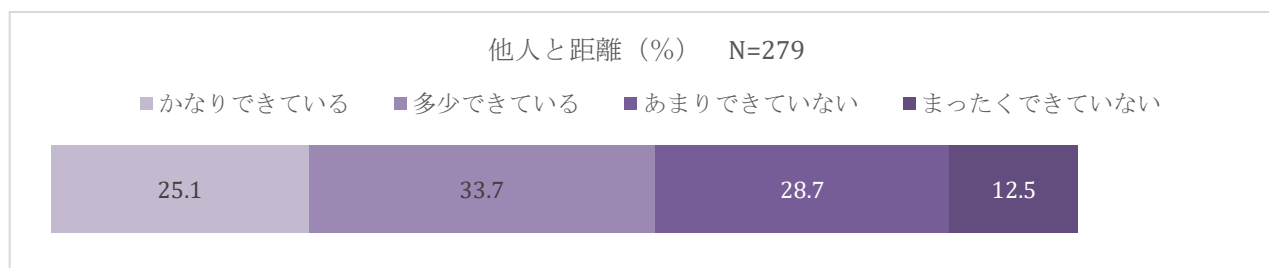
④検温（家庭内）(n=279)



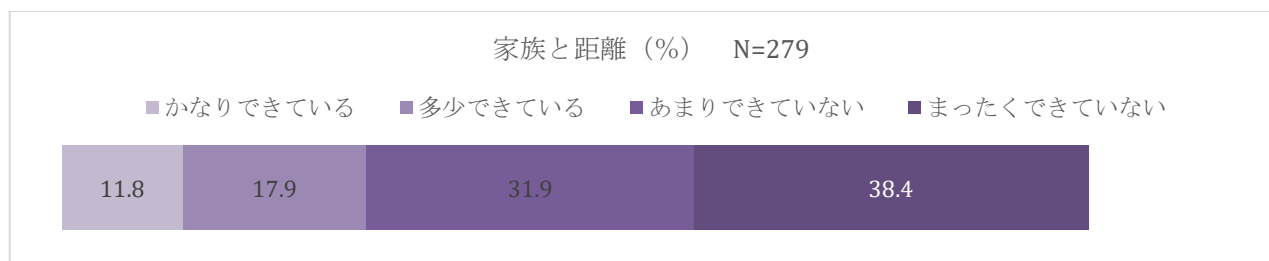
⑤換気（窓をあけた）した状態の部屋にいること（冬の寒いときを想定）(n=278)



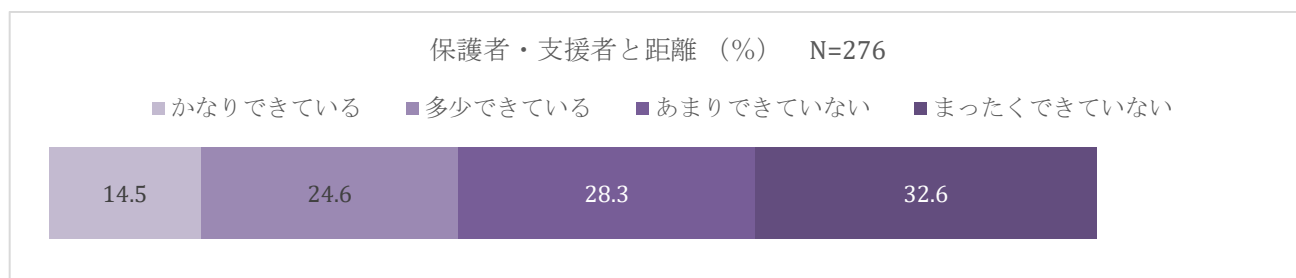
⑥他人と距離(n=279)



⑦家族と距離(n=279)

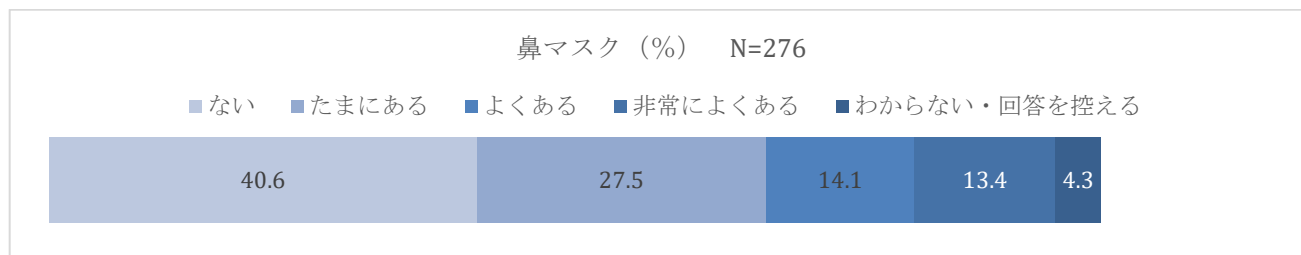


⑧保護者・支援者と距離（支援、介護等を接近して行わなければならない場合も含む）（n=276）

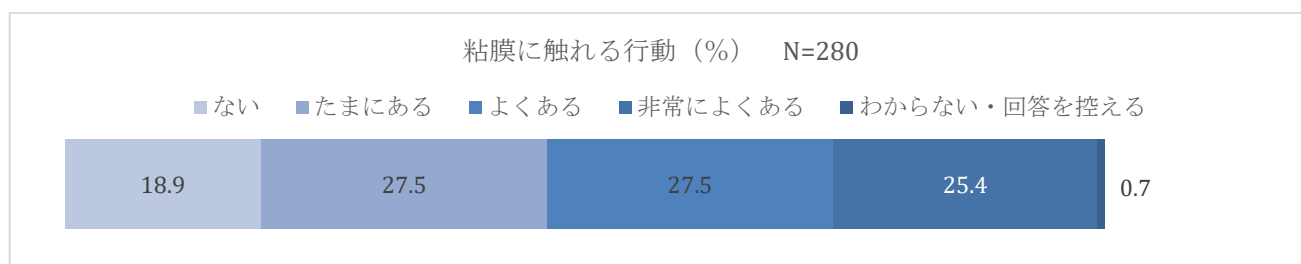


8) 感染リスクを高めるような癖や行動について

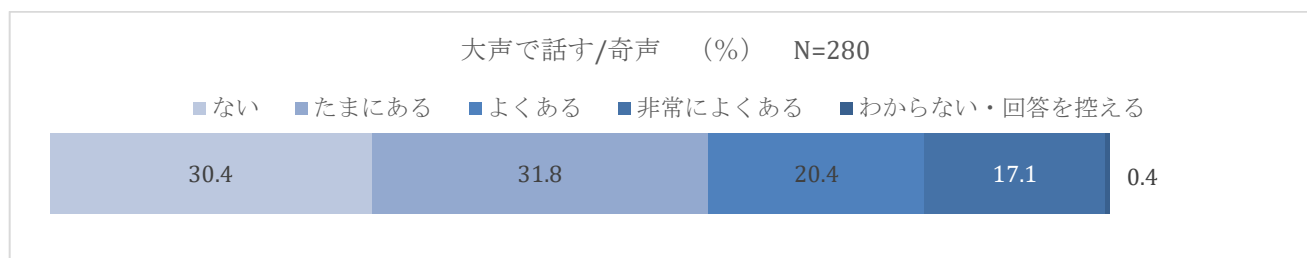
①鼻マスク(n=276)



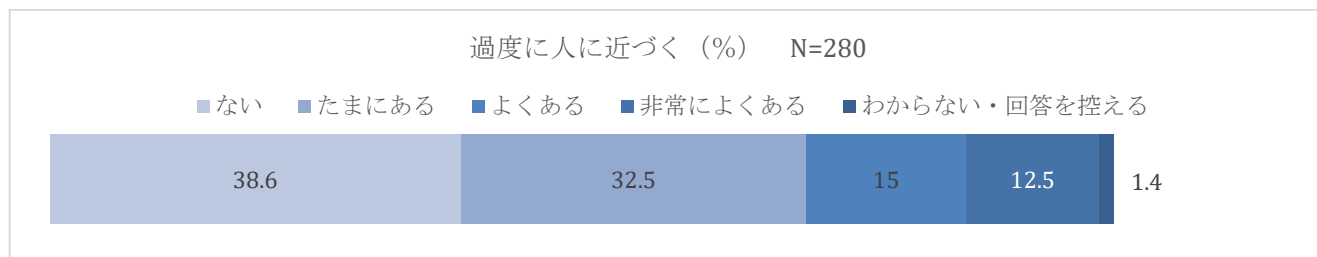
②爪を噛む、指を舐める、鼻をほじる、目をいじるなど、粘膜に触れる行動(n=280)



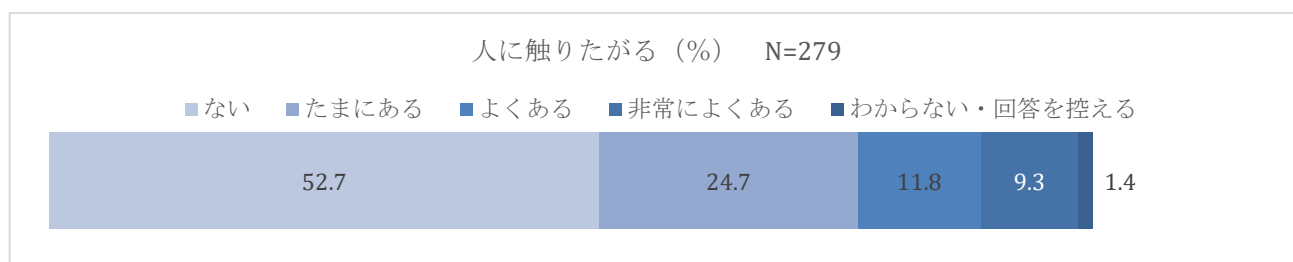
③大声で話す/奇声がある(n=280)



④過度に人に近づく、接近する(n=280)

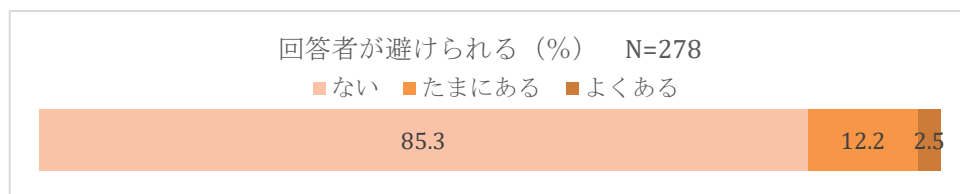


⑤人に触りたがる(n=279)

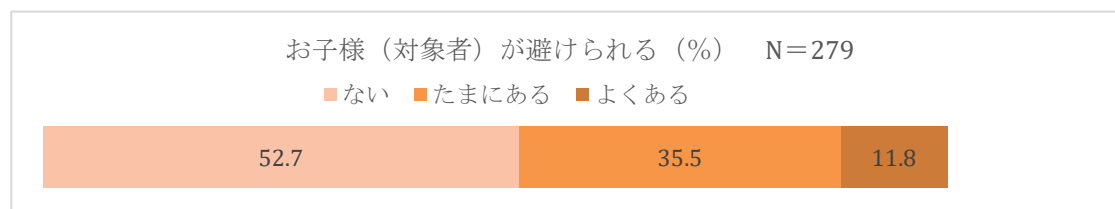


8-1) お子様やあなたは見知らぬ人や周囲から以下のような対応をとられることがあるか

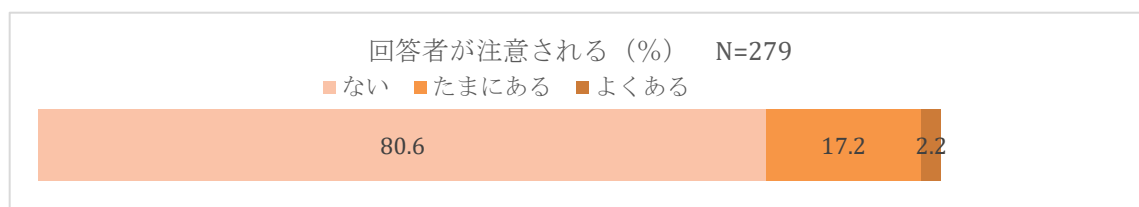
①あなた（回答者）が避けられる(n=278)



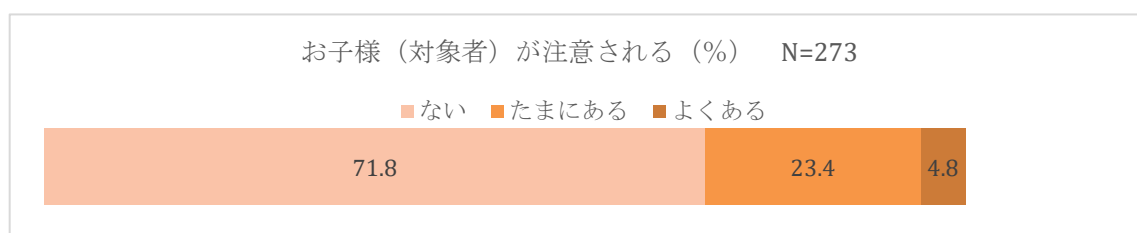
②お子様（対象者）が避けられる(n=279)



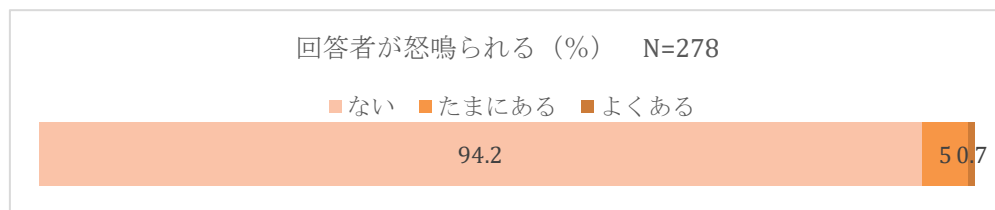
③あなた（回答者）が注意される(n=279)



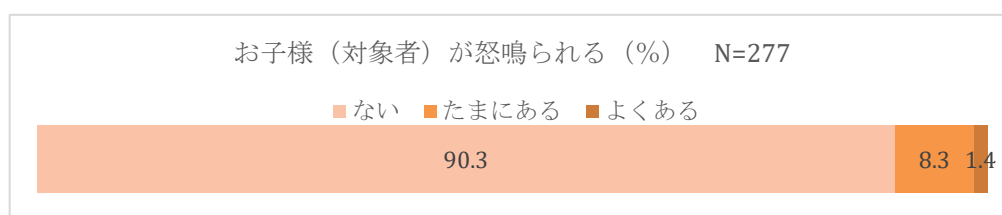
④お子様（対象者）が注意される(n=273)



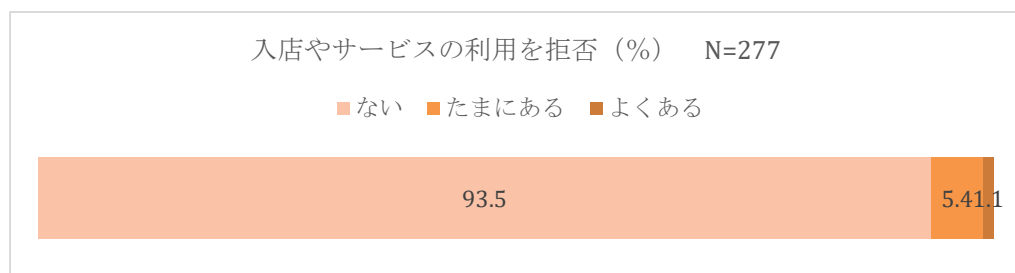
⑤あなた（回答者）が怒鳴られる(n=278)



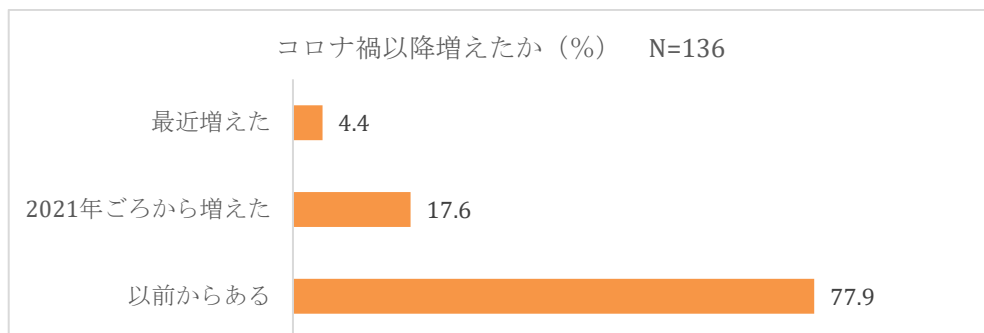
⑥お子様（対象者）が怒鳴られる(n=277)



⑦入店やサービスの利用を拒否される(n=277)



8-2) 8-1)で「たまにある」「よくある」と答えた方：それはコロナ禍が始まってから増えたか(n=136)



9) お子様（対象者）が入所型施設を利用されている方：入所施設で以下の措置があったか（複数回答）

	家族などが面会に行くこと	お子様・対象者が自宅へ帰すること	施設内で入所者同士が交流すること	ホームヘルパーやガイドヘルパー等外部の支援者が施設に出向いて支援すること	お子様・対象者が趣味目的（外食やカラオケなど）で外出すること	お子様・対象者が必要目的（買い物や散歩などの運動）で外出すること
N	12	8	9	5	10	10
%	44.4	28.6	32.1	18.5	35.7	35.7
総数(n)	27	28	28	27	28	28

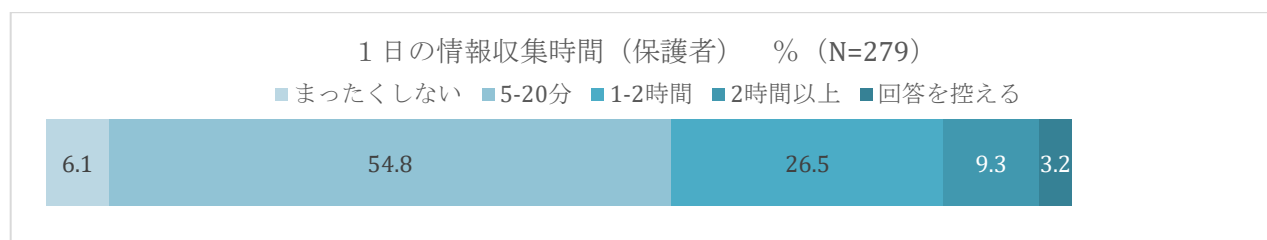
Ⅲ,新型コロナウイルスに対する行動について

1、新型コロナウイルスに対する行動について:情報収集

- 1) あなた（ご回答者）は、主にどの媒体から新型コロナウイルス（ワクチン接種当も含む）に関する情報を得ていますか（複数回答）（n=281）

	テレビ・ラジオのニュース	テレビのワイドショー、バラエティ番組	新聞	週刊誌・雑誌など	政府、自治体、研究者	医師など医療の専門家のWeb上の発信	著名人（非専門家）のWeb上の発信	同居の家族	友人、知人、親戚など	かかりつけ医や学校、利用施設	その他	情報収集はしない
N	206	86	78	0	220	1	40	54	209	76	0	3
%	73.3	30.6	27.8	0	78.3	0.4	14.2	19.2	72	27	0	1.1

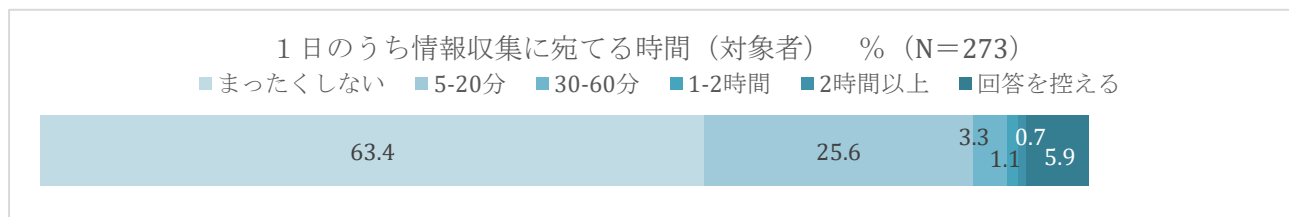
- 2) あなた（回答者）は、1日のうちにどの程度、新型コロナウイルス（ワクチン接種を含む）の情報収集にあてていますか。（n=279）



- 3) お子様（対象者）は、主にどの媒体から新型コロナウイルス（ワクチン接種等も含む）に関する情報を得ていますか。（複数回答）(n=281)

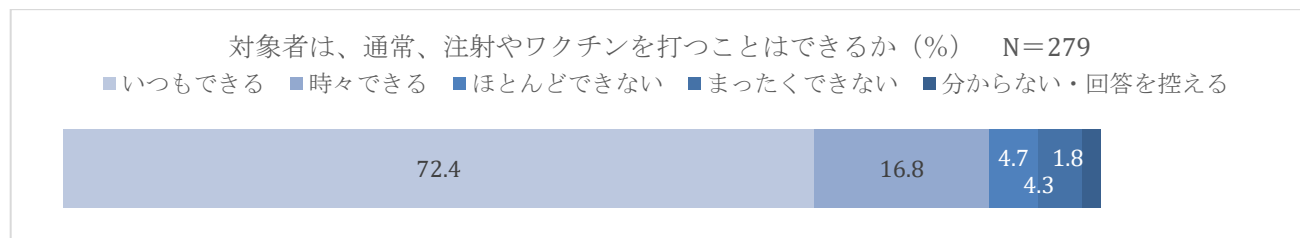
	テレビ・ラジオのニュース	テレビのワイドショー、バラエティ番組	新聞	週刊誌・雑誌など	政府、自治体、研究者	医師など医療の専門家	著名人（非専門家）	同居の家族	友人、知人、親戚など	かかりつけ医や学校、利用施設	その他	情報収集はしない（理解できない）	回答を控える
N	102	42	18	0	46	16	15	79	29	58	0	67	38
%	36.3	14.9	6.4	0	16.4	5.7	5.3	28.1	10.3	20.6	0	23.8	13.5

- 4) お子様（対象者）は、一日のうちにどの程度、新型コロナウイルス（ワクチン接種を含む）の情報収集にあてていますか.(n=273)

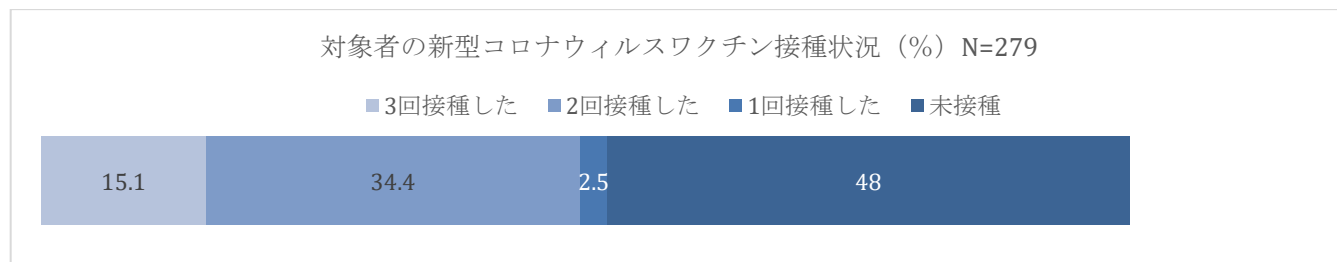


2、新型コロナウイルスに対する行動について:ワクチン接種

- 1) お子様（対象者）は、通常、注射やワクチンを打つことはできますか(n=279)



- 2) お子様（対象者）は、新型コロナウイルスワクチンを接種しましたか(n=279)



- 3) 「未接種」もしくは「1回接種した」と回答した方：理由（複数回答）(n=281)

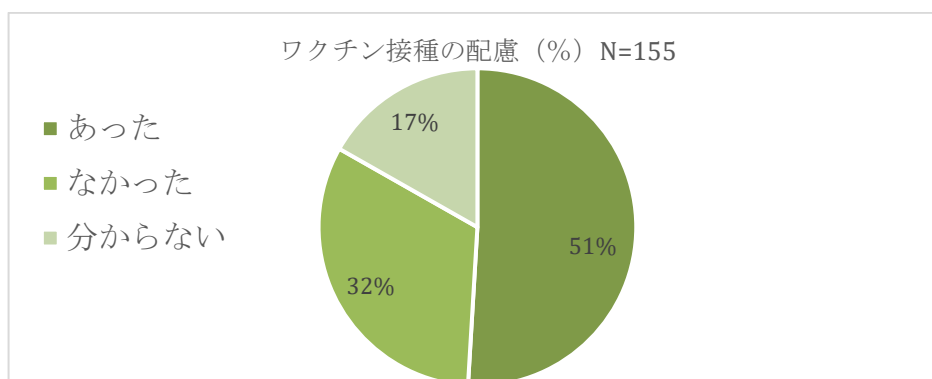
	接種年齢に達していない	重度の過敏症や疾患	疾患はないが本人が嫌がる	本人が副反応を心配	回答者・家族が副反応を心配	接種場所・会場に行けない	保護者ワクチンに不信感	本人ワクチンに不信感	その他	回答を控える
N	41	7	24	8	38	5	30	6	31	4
%	14.6	2.5	8.5	2.8	13.5	1.8	10.7	2.1	11.0	1.4

（その他：理由）

- まだ接種券が届いていない(8)
- 接種券が届いたばかり (3)
- 予約が取れない
- 予約済みで接種待ち (8)
- 1回目済・2回目の接種待ち (3)
- 指定医療機関がかかりつけ医がなく、障害児の扱い慣れてない Dr.ばかりで困ってる
- 体調が悪く医師と時期を相談してまだ打てない
- コロナ感染後のため、しばらく期間をあけるつもり

- ・ 今検討中
- ・ 治験中のワクチンなので、接種せず様子を見ている
- ・ 主治医から、今はまだ様子見をするように言われている。同居両親は接種済。
- ・ 接種する時間がとれない
- ・ 日本脳炎のワクチン接種をしたりでタイミングを外した
- ・ 予防効果が有効な期間が短いなど懸念事項がありまだ様子見している

4) 接種したと回答した方：今回のワクチン接種に際して、行政や接種実施者による、何らかの配慮はありましたか。(n=155)



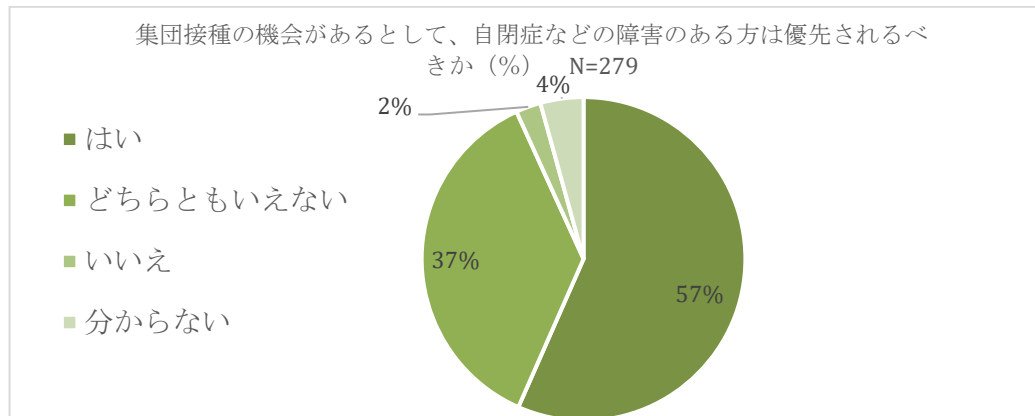
4-1) 4)で「あった」と回答した方：どのような配慮がありましたか。(複数回答)

	先 一般の人より接種時期が された	一般枠と接種会場や部屋を分 ける、パーティションの設置など	利用施設等に接種者が出向 いて接種が行われた	接種の流れについて視覚化するな ど、丁寧な説明があった	その他
N	58	14	19	13	8
%	39.7	9.7	13.1	9.0	0.6
総数(n)	146	145	145	145	145

(その他)自由記述

- ・ ヘルパー同伴
- ・ 地域外の個人病院でインフルエンザ予防接種受けている病院を許可してくれた（本来許可出ない地域）
- ・ 当日、長く待たずにスムーズに接種できるよう配慮してもらえた。
- ・ 腕を出すため服を脱ぐのを、ゆっくり待ってくれた
- ・ 1人づつが原則だが理由を言って親と一緒に配慮してもらった
- ・ とりあえず、障害があるということで気を使っているような雰囲気
- ・ 行きやすい時間帯に予約をいれてもらえた
- ・ 病院の駐車場に車を停めて、お医者さんが車内まで来て打ってくれた

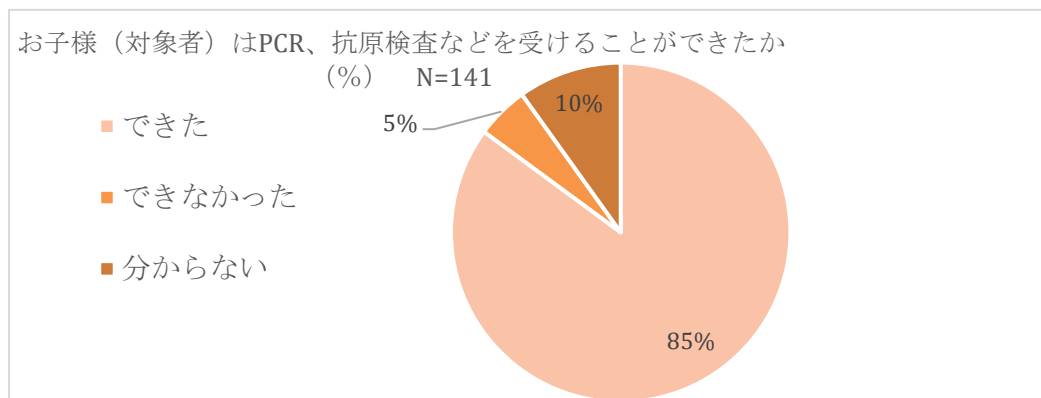
- 5) 将来的に、今回のような集団接種の機会があるとして、自閉症などの障害のある方は優先されるべきと考えますか(n=279)



3、新型コロナウイルスへの感染について

- 1) お子様（対象者）が新型コロナの検査を受けることになった方

お子様（対象者）はPCR、抗原検査などを受けることができましたか。(n=141)



- 1-1) 1)で「できなかった」と回答された方：お子様（対象者）がPCRや抗原検査を受けられなかった理由（複数回答）(n=7)

	ご回答者が、難しいと判断した	病院／薬局で検査キットが不足していた	綿棒を鼻に入れる行為に抵抗した（嫌がった）	必要量の唾液の採取ができなかった	検査場所ですぐ待てなかった	検査場所に行くことに抵抗した（嫌がった）
N	2	3	3	3	1	1
%	28.6	42.9	42.9	42.9	14.3	14.3

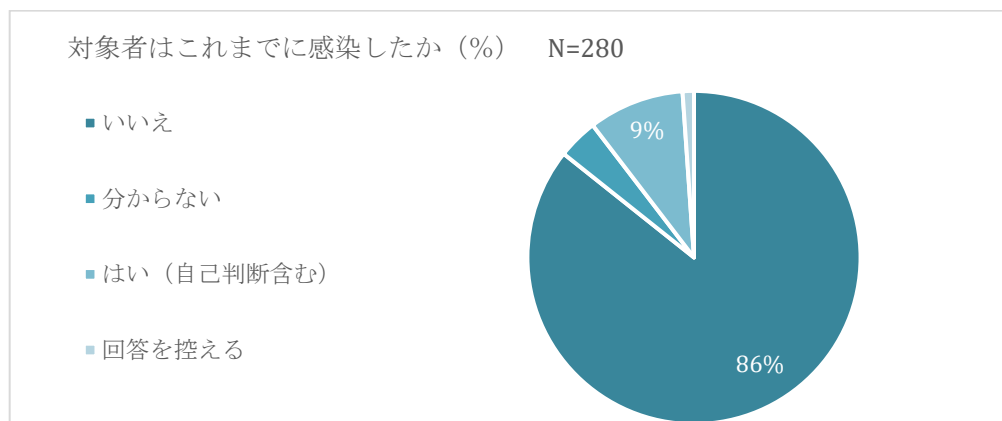
2)現在のお子様（対象者）の体型について教えてください。(n=279)



2-1) お子様（対象者）のコロナ禍が始まってからの体型の変化について教えてください(n=280)



3) お子様（対象者）は、これまでに新型コロナウイルスに感染しましたか。(n=280)



3-1) 上記でお子様が「感染した」と回答された方へ：感染時期はいつですか(n=25)

	N	%
2020 年 1～9 月(新型コロナウイルス流行初期)	3	12
2020 年 10 月～2021 年 5 月（デルタ株以前）	0	0
2021 年 6 月～11 月（デルタ株流行期）	2	8
2021 年 12 月～現在（オミクロン株流行期）	20	80

3-2) 感染経路(n=28)

	家庭内感染	施設等での感染	学校や利用	先	外食等外出	不明	回答を控える
総数	6	16	1	5	0		
%	21.4	17.5	3.6	17.9	0		

3-3) 感染時のお子様の症状について（複数回答）（n=26）

	無症状	倦怠感	味覚・嗅覚の消失	痛・頭痛・下痢など	風邪症状（鼻水・咳・咽頭	身体の痛みや皮膚の発疹	38℃以上の発熱	息切れ・呼吸困難	錯乱	その他
N	4	10	0	22	1	19	0	0	0	2
%	15.4	38.5	0	84.6	3.8	73.1	0	0	0	7.7

3-4) お子様（対象者）の主な療養方法（複数回答）（n=26）

	総数
自宅	24
ホテル等宿泊施設	0
病院（一般病院）	1
病院（精神科病棟）	0
障害者入所施設やグループホーム	1

3-5) お子様（対象者）は、隔離期間に部屋を施錠されたり、身体拘束などをされましたか(n=26)

	N
該当しない	25
該当する	1

3-6) お子様（対象者）は、隔離や自宅待機などを一般の人より長期にするように求められましたか（n=26）

	N
該当しない	26
該当する	0

3-7) お子様（対象者）は、新型コロナウイルス感染症後に、後遺症と思われる症状はありますか(n=26)

	N
症状はない	15
症状がある	5
回答を控える	6

3-7-1) 3-7) で後遺症があると回答された方へ：当てはまるところ(n=7)

	強い倦怠感	味覚・嗅覚障害	せき・たん	呼吸器症状（息苦しさなど）の持続	微熱が続く	抜け毛	その他
N	2	0	1	0	1	1	2

（その他）手の皮のめくれ、粘血便、リンパの腫れ、湿疹、身体の痛み

感染判明後のお子様（対象者）の様子や対応方法（自由記載）

- ・ 家族全員が感染したので、自宅で過ごした。ただ、父親がテレワークで、行動が制限され、イライラして破壊行為があった。
- ・ 家庭内感染、自宅で隔離療養し、検査、診察は、小児科のかかりつけ医がしてくれた。
- ・ 家族全員で感染したので、家で過ごしたが、甘えん坊になった。
- ・ トイレ、お風呂以外は部屋で隔離。初日は大丈夫だったがその後、ストレスや寂しさを感じてた。喋りたがりトイレなどで部屋から出る時はすぐに部屋に戻りたがらない。zoom を通しておしゃべりできるようにしたりYouTube や漫画でその期間忍ばせた
- ・ 発熱し感染を疑われたが検査が出来ず、その後同居家族が次々と陽性となり本人も感染者と思われるが、行政からは検査が出来ていないからと感染者とはみなされなかった。その為、同居家族は保健所からの聴き取り調査や病状観察がされたが、本人は全く聴き取り調査等されなかった。
- ・ 外出出来ない為、機嫌が悪くなるが多かった。
- ・ 幼稚園で感染しマスクをつけてもらい自宅で療養した。完全な隔離ができず家庭内感染した。
- ・ 放課後デイサービスで感染し、自宅で過ごした。ゲームさせると癇癪、兄弟喧嘩の連続で限界だった。ゲームを渡して別室で蒲団被って耐えていた
- ・ スイミングスクールで感染し、自室に隔離になった。スマホとタブレットでずっと遊んでいたが終始イライラしていた。
- ・ 学校か放デイで感染。熱が下がってからの自宅療養中は、12 時間睡眠を取らないと起きなかった。
- ・ 放課後等デイサービスで感染。そのまま家族全員で 1 ヶ月ほど自宅待機。コロナの症状こそなかったが、全員がストレスフルで、特に子どものきょうだい喧嘩が酷かった。
- ・ 唾液検査はできた。感染しても親にベッタリで隔離ができず、マスクを 24 時間して一緒に過ごした。せめて寝室は分けて食事時間はずらした。翌日には解熱したのでまる 10 日間は自宅で過ごした。外出出来なくて体力を持て余し、その全てが親にくるので相手が大変だった。
- ・ どこで感染したか不明。発熱嘔吐で脱水になり入院。軽い咳と少し前に結膜炎になっていたことを伝えコロナでは？と聞いたが、主治医は否定。検査はして貰えず、ウィルス性の胃腸炎と診断された。回復まで通常よりもかかったが食事がとれるようになり退院。その後身体に発疹、指の皮がめくれはじめる。1 ヶ月後に粘血便がでて発熱、リンパが腫れ、川崎病を疑われたが、熱が下がり詳しい検査はしなかった。その後 1 年近く倦怠感と身体の痛みを訴え、学校を休みがちになった。病院を受診したが小学校入学のタイミングに重なったため心因性を疑われ、身体について調べて貰えたことはない。
- ・ 利用施設職員さんが陽性となり濃厚接触者として PCR 検査をしたが一度は陰性、その直後に発熱、再検査で陽性となり自宅療養。私（母）もその後感染。子供でも頭痛や発熱、下痢の症状があったが市販薬でしのぐ。外出が出来ず毎日説得、ごまかしでなんとか乗り切ったがやはり大変だった。
- ・ 家庭内感染し、父母と共に自宅療養。自宅療養や PCR 検査について等、全て視覚的に説明したところ、納得したのか意外にも不安定にならずに 17 日間（父母の療養期間も含めて）を過ごすことが出来た。（2 年前の長期休校時はかなり不穏になったため、今回も覚悟はしていた）
- ・ 管轄保健所に事情を説明し、ドライブと夜間などの人のいない時間帯の散歩は許可してもらい、何とか過ごす

ことができた。いつからサービスを利用再開できるか、不安になった時もあり、確認が増えた

- 家庭内感染し、自宅で自主隔離して過ごした。検査はできなかった。外出ができず、ひたすら寝て過ごしていた。
- 母親から隔離するのは難しかったので、同居の兄姉に部屋を分けてもらいました。
- 日曜日の起床時に発熱を確認。家庭で抗原検査して陽性。保健所に連絡。休日診療所の発熱外来を受診。コロナ感染と診断。そのまま自宅療養。個室隔離は出来ず、2 日後に両親に家庭内感染。本人は軽症で主な介護者である母親は基礎疾患が複数あり中等症以上で後遺症も複数あり苦しいが、その母が引き続き介護をした。
- 入所施設で感染し、そのまま施設で隔離、療養生活をして過ごした。比較的軽症であった。

- 4) 2022 年 1 月～現在の間(オミクロン株流行期)に、お子様(対象者)以外に、お子様にとって身近な人の中に新型コロナウイルスに感染した人はいますか(複数回答)(n=281)

	ご回答者	同居家族	お子様（対象者）の学校や利用施設、職場の同僚など	その他	いない	回答を控える
N	3	22	104	7	146	3
%	1.1	7.8	37	2.5	52.0	1.1

アンケートは以上です。ご協力いただき、誠にありがとうございました。